

福岡県歯科保険医協会福岡支部主催講演会

骨吸収阻害薬関連顎骨壊死に 対する予防と治療

講師 石井 広太郎先生

九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座
口腔顎顔面外科学分野
九州大学病院 顔面口腔外科 助教



日時 10月10日(水)20時

会場 九州ビル5階

(福岡市博多区博多駅南1丁目8番31号)

参加費 会員無料 ※未入会の先生はこの機会にご入会下さい。

1990年代に発売開始となったビスホスホネート製剤(以下BP製剤)は、骨吸収亢進を呈する様々な骨代謝疾患において大きな効果を発揮している一方、2003年にビスホスホネート製剤関連顎骨壊死(BRONJ)が初めて報告されて以来、歯科界はBP製剤投与患者の対応に追われ、口腔外科医は顎骨壊死の撲滅に奔走している状況である。本邦では2010年に5学会よりポジションペーパーが作成され、BRONJに対し保存療法が推奨された。その後世界中で臨床検討がなされた結果、2016年にポジションペーパーの改訂版が発表され、デノスマブの登場により名称が骨吸収阻害薬関連顎骨壊死(ARONJ)へ変更となり、治療法においては保存療法に加え外科治療の記載も追加されることとなった。ARONJの最適な治療法には未だ議論の余地があるが、当院での実際の症例を交えてARONJの予防、治療法そして今後の展望について提示する。皆様の理解を深める一助になれば有難い。

【ご略歴】

2003年3月 九州大学歯学部卒業
2007年3月 九州大学大学院歯学府修了
2007年4月 九州大学院 顔面口腔外科 医員
2015年4月 九州大学病院 顔面口腔外科 助教
現在に至る

【所属学会・資格】

日本口腔外科学会専門医/日本口腔科学会認定医
日本顎関節学会会員

返信先 FAX : 092-473-7182

会員氏名 : _____ 参加人数 : _____ 名

医療機関名 : _____ TEL : _____